



# *The Global Alliance for Sustainable Supply Chain*

一般社団法人 全国銀行協会  
第32回 人権・同和問題啓発講演会

## 「外国人の人権をめぐる課題、企業の対応について」

一般社団法人グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン

代表理事 下田屋 毅

日時：2019年9月26日（木）16:30～17:30

場所：フクラシア東京ステーション 6階6D

下田屋 毅

Takeshi Shimotaya

一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・  
サプライチェーン 代表理事

<http://g-assc.org/>



日本と欧州とのCSR／サステナビリティの懸け橋となるべくSustainavision Ltd.を2010年英国に設立。ロンドンに拠点を置き、日本企業に対してCSR／サステナビリティに関する研修、関連リサーチを実施。2012年より「英国CMI認定サステナビリティ（CSR）プラクティショナー資格講習」を日本にて定期開催している。

2017年一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン（アスク）を日本にて設立、日本企業のサプライチェーン上の人権、労働問題、環境問題の課題解決に向けた取り組み（外国人労働者ラウンドテーブルなど）を海外のイニシアティブとの連携を行いながら進めている。

1991年大手重工メーカー入社、工場管理部にて人事・総務・採用・教育・給与・労使交渉・労働安全衛生などを担当。労働安全衛生主担当として、工場の「安全衛生内部監査制度」を企画・導入。環境ビジネス(再生可能エネルギー／R.P.F.製造)新規事業会社立上げ後、2007年渡英。英国イースト・アングリア大学環境科学修士、英国ランカスター大学MBA修了。執筆講演多数。

# ASSCについて

ASSCは、国際的な連携のもと、持続可能なサプライチェーンの構築に取り組むNGOです。



Photograph: Takeshi Shimotaya



Photograph: Damon Coulter/Barcroft Image

ASSCは、企業、労働組合、NGO/NPOの連携を通じて、労働者としての権利および人権を尊重した、持続可能な経済社会の構築とその推進に取り組む団体として設立されました。

企業との持続可能なサプライチェーンの推進に関するさまざまな「協働プロジェクトの実施」、人権や労働に関する制度的・構造的課題の解決に向けた「コレクティブアクションの創出」、政策提言や広く社会に向けた「情報発信・アドボカシー活動」の3つの働きかけを通じて、会員企業およびパートナー団体とともに、社会をより良く変えるために活動しています。

**ASSCは、国際的な連携のもと、持続可能なサプライチェーンの構築に取り組むNGOです。**

## 1. イニシアチブの推進

- (1) 海外イニシアティブ  
Cotton2040
- (2) 国内イニシアティブ
  - ①外国人労働者ラウンドテーブル
  - ②コットンに関する日本のイニシアティブ
  - ③サトウキビに関する日本のイニシアティブ

## 2. プロジェクトの実施

- (1) 人権デューデリジェンスプログラム
  - ①人権影響評価
  - ②国別人権影響評価、実態調査
- (2) CSR調達プログラム
  - ①各種方針策定支援
  - ②SAQ作成支援、社会労務監査の実施
  - ③苦情処理メカニズム/サプライチェーン・モニタリング
  - ④キャパシティ・ビルディング

## 3. セミナーの開催

- (1) ASSC定例セミナー  
毎月サプライチェーンに関するセミナーを開催
- (2) ASSC特別セミナー  
他団体との連携によるセミナー・ウェビナーの開催
- (3) ETIエッセンシャルズ研修  
英国Ethical Trading Initiativeとの連携によりCSR調達の基礎を学ぶ研修を開催。

## 4. 情報提供と情報発信

- (1) 海外・国内に関する情報提供
- (2) 海外・国内への情報発信

# 本日の内容



*The Global Alliance for  
Sustainable Supply Chain*

1. 外国人労働者に関する問題
2. 企業活動に関わる人権
3. 現代奴隷制とは？
4. 世界の人権法規制等の動向
5. 外国人労働者の課題への対応



# 1. 外国人労働者に関する問題

# 外国人労働者に関する問題



*The Global Alliance for Sustainable Supply Chain*



日本においては少子高齢化社会が進み、特に中小企業の労働者不足が顕著となってきた。製造業や建設業を中心に外国人技能実習生を含む外国人労働者が活用されているが、適正でない状況があり、これら労働者に対する人権侵害と労働搾取が国内外のメディアやNGOから指摘されている。これは大企業の自社工場を含むサプライチェーン上で実際に起こっていることで、対岸の火事ではない。

厚生労働省（2018年10月現在）によると、日本で働く外国人は、146万人に達し過去最高

外国人で日本に滞在している人々には、高度人材、身分に基づく在留資格、日系人、外国人技能実習生、留学生などがおり、労働力不足を補うために活用がなされている。その中で外国人技能実習生は、30.8万人に上る。



# 外国人労働者の状況（イメージ）



*The Global Alliance for Sustainable Supply Chain*



高度人材



帰化人



日系人



留学生



外国人技能  
実習生・特  
定技能



不法滞在者

平均所得

労働時間

法的保護

搾取リスク



## ＜外国人技能実習制度＞

発展途上国の若い人材を日本に招き、日本の高度な技術を身に付け、帰国後に母国の経済発展に寄与してもらう「国際貢献」を行うことを前提に始められた制度。

現実としては日本の労働者が就きたがらない3 K「きつい」「汚い」「危険」に該当するような職場に、3年間（延長最大5年間）の期間において、低賃金で働く労働者を雇用するための方策になってきた現状がある。

## ＜外国人技能実習生＞

農業・畜産、漁業、建設、食品製造、繊維・衣料、機械・金属など決められた職種で技能実習を行っている。

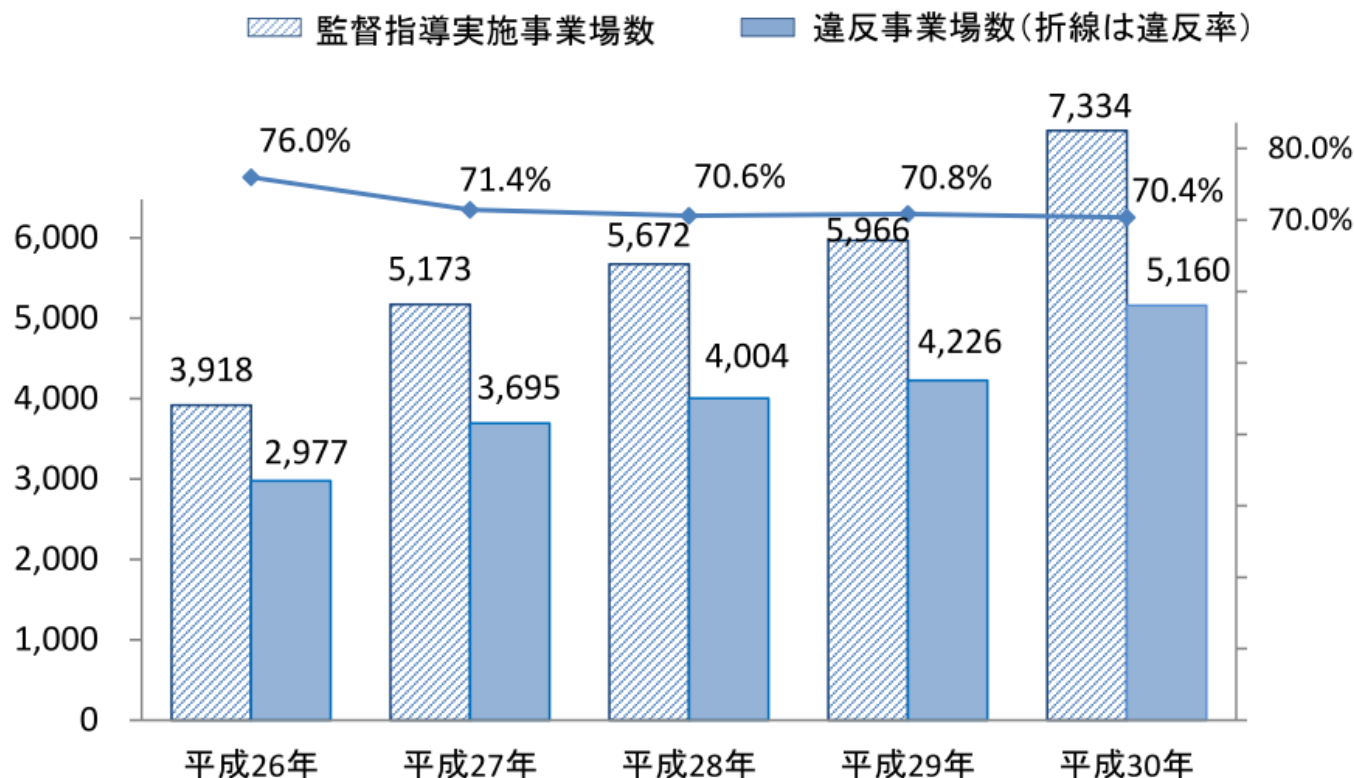
その技能実習のうちの多くは技術を身につけるような仕事に就くことができていないとも言われている。

# 外国人労働者に関する問題



全国の労働基準監督機関において、実習実施者に対して7,334件の監督指導を実施し、その70.4%に当たる5,160件で労働基準関係法令違反が認められた。

<注>違反は実習実施者に認められたものであり、日本人労働者に関する違反も含まれる。



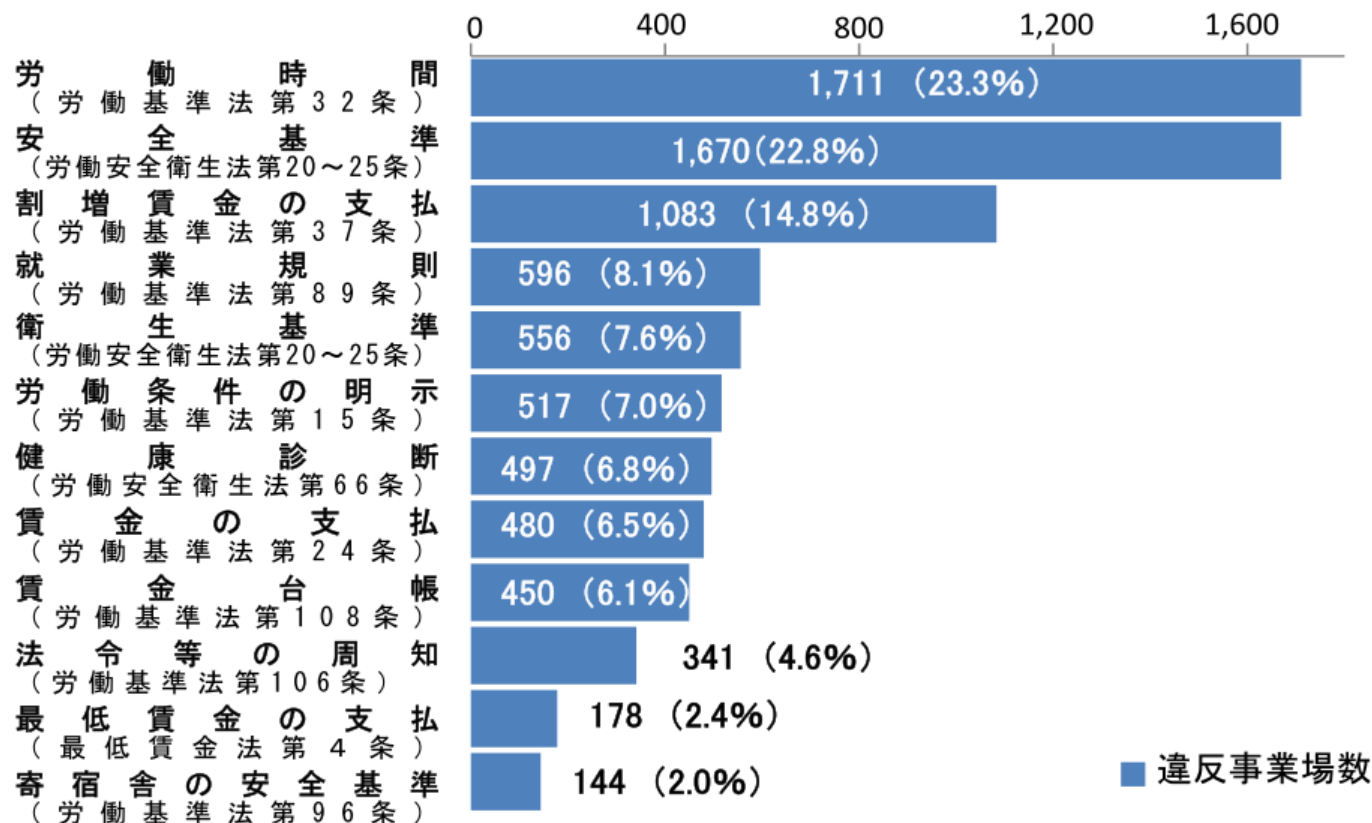
出典 厚生労働省「技能実習生の実習実施者に対する監督指導、送検等の状況（平成30年）」

# 外国人労働者に関する問題



The Global Alliance for Sustainable Supply Chain

主な違反事項は、①労働時間（23.3%）、②使用する機械に対して講ずべき措置などの安全基準（22.8%）、③割増賃金の支払（14.8%）の順に多かった。



<注> 違反事項が2つ以上ある場合は、各々に計上しているため、各違反事項の件数の合計と違反事業場数とは一致しない。

出典 厚生労働省「技能実習生の実習実施者に対する監督指導、送検等の状況（平成30年）」

# 外国人労働者に関する問題



The Global Alliance for Sustainable Supply Chain

主な業種	監督指導 実施事業場数	違反事業場数 (違反率)	主な違反事項		
機械・金属	2,830	1,937 (68.4%)	労働時間 707(25.0%)	安全基準 692(24.5%)	衛生基準 389(13.7%)
食料品製造	1,271	936 (73.6%)	安全基準 423(33.3%)	労働時間 351(27.6%)	割増賃金の 支払 181(14.2%)
繊維・衣服	782	502 (64.2%)	割増賃金の 支払 155(19.8%)	労働時間 111(14.2%)	賃金台帳 84(10.7%)
建設	659	474 (71.9%)	安全基準 139(21.1%)	割増賃金 134(20.3%)	賃金台帳 98(14.9%)
農業	184	124 (67.4%)	安全基準 39(21.2%)	賃金の支払 32(17.4%)	労働条件の 明示 20(10.9%)
<参考> 全業種	7,334	5,160 (70.4%)	労働時間 1,711(23.3%)	安全基準 1,670(22.8%)	割増賃金の 支払 1,083(14.8%)

出典 厚生労働省「技能実習生の実習実施者に対する監督指導、送検等の状況（平成30年）」

# 外国人労働者に関する問題



*The Global Alliance for Sustainable Supply Chain*



# 外国人労働者に関する問題



*The Global Alliance for  
Sustainable Supply Chain*

## The Worst Internship Ever (過去最悪のインターンシップ)

VICE NEWSが、日本の技能実習制度による強制労働の様子を動画で紹介。

広島県のカキ加工会社を訪れ、過酷な労働環境で働く中国人実習生にインタビューをしている様子が、英語で公開されている。

栃木県のイチゴ農家におけるセクシャルハラスメントについても報道。



出典： VICE NEWS [https://youtu.be/wt\\_IHCuH5g](https://youtu.be/wt_IHCuH5g)

# 外国人労働者に関する問題



The Global Alliance for Sustainable Supply Chain

愛媛県のタオル縫製工場で働く、ベトナム人技能実習生たちの劣悪な労働環境を訴える様子を取り上げた、NHKのドキュメンタリー番組（6月24日放送）をきっかけに、インターネット上では企業を特定しようとする動きや、Twitter上で「#今治タオル不買」を呼びかける声上がるなど、今治タオルブランドをめぐる炎上騒ぎに発展している。

報道では、問題企業の社名は出ていないため、憶測から特定された別の業者が否定コメントも出した。

6月26日、今治タオルブランドの認定や商標などを管理する、今治タオル工業組合は「NHKノーナレ報道についてのご報告」との公式見解を発表。番組で報道された企業は「組合員ではない」としながらも、「当組合の社会的責任及び道義的責任があると考えており、この問題を非常に重く受け止めております」と、組合としての責任があると、明確に認めた

2019.06.26

NHK「ノーナレ」報道についてのご報告

## NHK「ノーナレ」報道についてのご報告

6月24日（月）NHK「ノーナレ」報道（本報道）について、当組合に対しても様々なご意見を頂戴しております。また、今治タオルをご愛顧頂いている皆様、お取引先各社様、並びに関係各所の皆様方には多大なるご心配をお掛けしております。つきましては、当組合が現時点で把握しております事実関係についてご報告をさせていただきます。

今治タオル工業組合

今治タオル工業組合は、タオルを製織する会社104社（2019年5月）が所属する組織で、タオルの生産に関する情報の収集及び提供並びに調査研究等、今治タオルの振興を図る事業を実施しております。

まず、本報道にありましたベトナム人技能実習生の皆さまが受けた耐え難い苦痛に対しまして、当組合では社会的責任及び道義的責任を非常に重く受け止め、事実確認を進めております。





# 外国人労働者に関する問題



The Global Alliance for Sustainable Supply Chain

報道 教養・ドキュメンタリー アニメ 旅・グルメ 情報・バラエティ ドラマ・映画  
 動画 読みモノ ショッピング・トラベル イベント・劇場映画 アナウンサー ナナ プレゼント

バックナンバー

2017年12月12日 放送 第794回

"絶望職場"を今こそ変える!



toyosysi @toyosysi · 12月12日

これは何処のブランドの服だ？海外の実習生をボロ雑巾の様に使い捨てメイドインジャパンが作られてるとは恥ずかしい... #ガイアの夜明け



5 90 70

2017年12月15日  
 株式会社ジャパンイマジネーション

一部TV番組放送内容に関して

過日放送のTV番組における放送内容につきまして、ご説明申し上げます。  
 番組内で放送された縫製工場における外国人技能実習生の労働問題につきまして、本年7月に岐阜一般労働組合及び番組制作会社より一報を受け、弊社として初めて認識致しました。弊社商品の取引メーカー様に確認をした結果、今回問題となった同工場に対し該当とされる商品の発注がなされており、労働問題が存在するという事実も判明致しました。  
 弊社としては、取引メーカー様へ同工場での商品の製造を取りやめて頂くよう申入れ、本年9月をもって同工場での製造は終了しております。

弊社の商品が取引メーカー様の先の縫製工場において、不適切な人権労働環境のもと製造されていたとすれば、誠に遺憾であると考えており、またその実情を知り得なかったことについては、大いに反省すべき点であると認識しております。  
 今後は取引メーカー様と共に、製造現場について更なる関心を払い、弊社の商品がそのような環境下で製造されることがないように努力をして参る所存です。  
 お客様をはじめ、各方面の皆様にご心配をおかけ致しましたこと、心よりお詫び申し上げます。

以上



nanao @nananacat007 · 12月14日

これ見てたけど、セルマルキー（ジャパンイマジネーション）も法的責任は無いとはいえず、カメラの前での対応にびびった。企業として初期対応が最悪すぎ。顧問弁護士なんて紙面で仰向き逆にブランドイメージ落としまくりやん。今まで狭い世界で商売してたんやろな。

#ガイアの夜明け

2 10 9



はる ☆ @eccome · 12月12日

#ガイアの夜明け 特定班が凄すぎる

(株) ジャパンイマジネーション

主なブランド：セルマルキー

孫請会社：株式会社クラスター 代表：池田

13,000円のメイドインジャパンの服→外国人実習生が時給400円で作ってた

7 771 421



時計じかけのミカン @mkn\_inv · 12月12日

書面に「映像が放映されたらBPOに苦情申し立てる」とあるの自体を放映してしまうテレ東魂。しかしセルマルキーも酷いことしてるなあ。 #tvtokyo #ガイアの夜明け #gaia

3 473 329



ちゃんいよ @No\_310i · 12月12日

このBE RADIANCE というブランドの洋服を一生懸命作っている外国人労働者の方たち...時給400円で働かされ、一人当たりの未払いの時間外労働金が600万円...そんな会社をかばう弁護士...これが許される制度も問題。 #ガイアの夜明け

BBC メニュー

NEWS JAPAN

ホーム | 読み物・解説 | ビデオ | ワールドニュースTV | BBC News



## 日本で「搾取」される移民労働者たち

© 2019年08月26日

f     共有する

## 日本で「搾取」される移民労働者たち

日本の移民制度が厳しい批判を浴びている。移民労働者の搾取が横行していると報じられているためだ。

BBCのステファニー・ヘガティ人口問題担当記者は、低賃金で長時間働かされたと訴える移民労働者たちに話を聞いた。その中には、世界的服飾ブランドの服を作っていた人も含まれている。

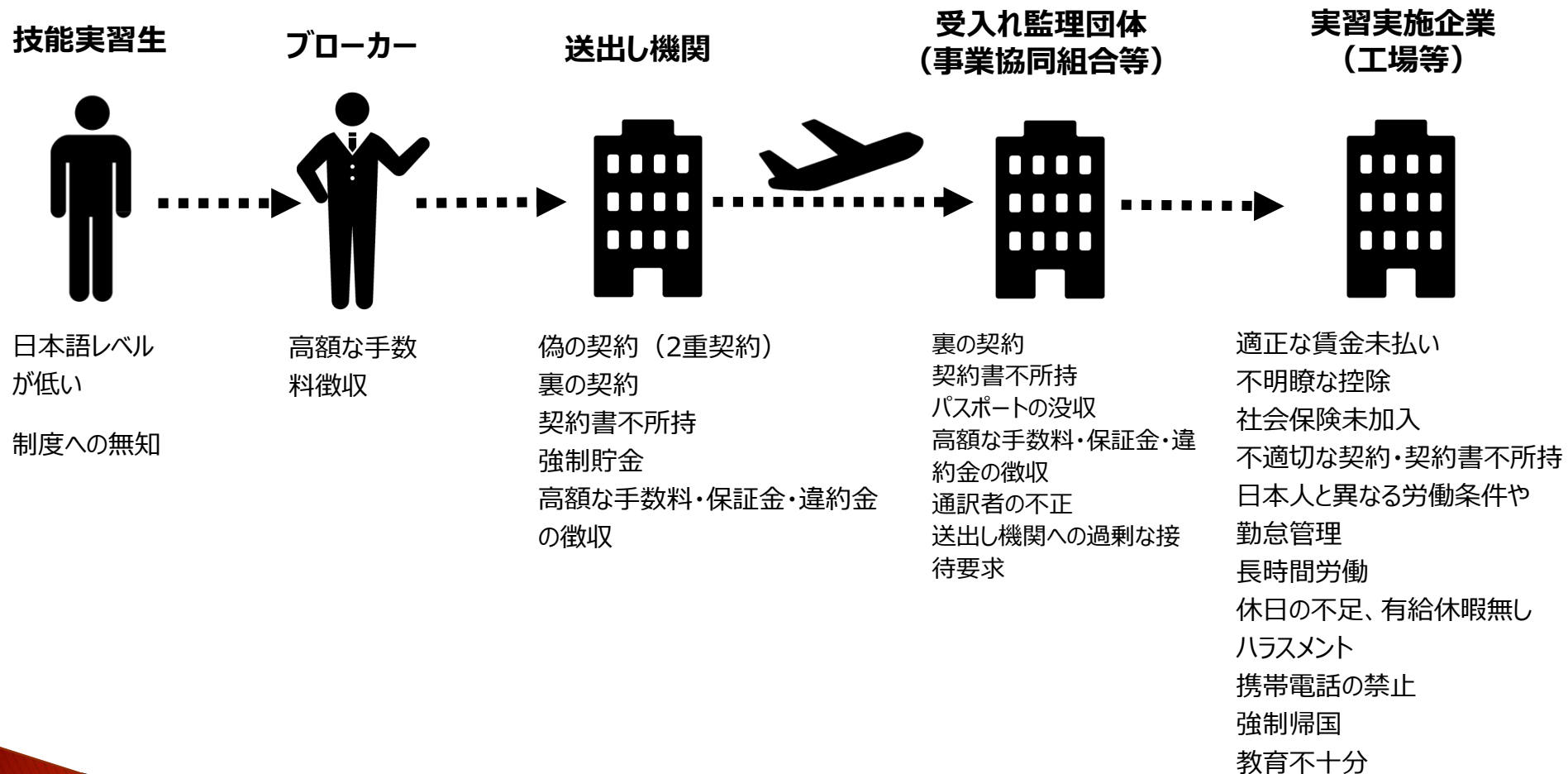
そのほか、危険な仕事を命じられた人、職場でいじめられた人もいた。

※出典：BBCビデオニュース日本・英国（2019年8月26日）

# 外国人労働者に関する問題



The Global Alliance for Sustainable Supply Chain



# 外国人労働者が受ける人権問題



The Global Alliance for Sustainable Supply Chain

分類	事例
技能実習生	日本語レベルが低い 制度への無知
ブローカー（仲介業者）	高額な手数料徴収
送出国	<ul style="list-style-type: none"> <li>裏契約、契約書がない</li> <li>強制的に貯金を要請</li> <li>高額な手数料・保証金・違約金の徴収</li> </ul>
受入れ監理団体（事業協同組合など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>裏契約、契約書がない</li> <li>パスポートの没収</li> <li>高額な手数料・保証金・違約金の徴収</li> <li>通訳者の不正</li> </ul>
実習実施機関（企業・工場など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>保証金・預託金の徴収</li> <li>パスポート・身分証明書の管理</li> <li>強制帰国</li> <li>賃金の未払い、不明瞭な控除</li> <li>時間外手当の割増賃金未払い</li> <li>社会保険への未加入</li> <li>タイムカードなし または一括管理</li> <li>残業を別書類で管理（二重管理）</li> <li>不適切な雇用契約・雇用契約書不所持</li> <li>年間休日の不足、有給休暇なし</li> </ul>

- 有給休暇制度説明不足によるトラブル
- 年間の休日の不足、最低賃金未達
- 月200時間を超える時間外労働（長時間労働）
- 36協定違反
- 7日以上の連続勤務
- 日本人と異なる労働条件や勤怠管理
- 差別、セクハラ、パワハラ
- 携帯電話の禁止
- 不十分な安全教育